

京橋きやうばしの辺ほとりは、大阪より河瀬を引登る舟着にて、夜の舟昼の舟、あるは都に通ふ高瀬舟たかせ、宇治川うぢがはくだる柴舟しばふね、かずく

こぞりてかまびすしく、川辺の家には旅客をとめ、驚忽なる声を出して響応けるも、此所の風儀なるべし。